

2026年6月11日

2026年5月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判・巻取ともに目立ったスポット案件が少なく、昨年を大きく下回る販売量となった。在庫量については販売量が減った影響で平判が昨年より若干増えた。

（前年比 平判 88.3%・巻取 92.2%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の定期誌以外のスポットが無く、昨年を大きく下回った。

再生紙巻取も目立ったスポット案件がなく、平判同様に昨年を大きく下回り、再生紙全体で昨年を大きく下回る形となった。

（前年比 平判 74.9%・巻取 70.8% 再生上質計 72.6%）

巻取・平判ともに昨年比で大きく落とし、印刷用紙 A 全体で昨年を大きく下回る結果となった。

印刷用紙 A 全体在庫量については、昨年同月比でほぼ横ばいだった。

（印刷用紙 A 全体前年比 89.2%）

<A2 コート>

平判は、ディスカウントストアやデリバリー関連での動きが活発だが、不動産関連は継続的に低調な状況が続いている。先月は、価格修正の影響と中東情勢不安により特需があったため、5月はその反動減によりグロス、マット共に前年を下回った。

巻取は、量販店やデリバリー等で一部チラシの動きがみられた。昨年の落ち込みが大きかった反動や中東情勢不安による買い込み等で、グロス、マット共に前年を大幅に上回った。

（前年比 平判 93.7% 巻取 114.7% 全体 97.0%）

<A3 コート>

大型スーパー、デリバリー等の定期的なチラシ案件と株主総会関連で動きがあった。

株主招集通知はサマリー化（ページ数減）が昨年より進んでおり、一部 A2 への用紙変更等もみられ、使用数量も落ちている。中東情勢不安による在庫の不安定化もあり、平判は前年を下回り、巻取は前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 98.1% 巻取 79.7% 全体 84.1%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融の手書き帳票の動きが低調で、価格修正の影響の反動があった。

巻取は自治体帳票、生保系案件も乏しく、スポット案件も目立った動きがなく、巻平共に前年を大幅に下回った。

(前年比 平判 87.7% 巻取 78.3%)

<上質フォーム>

自治体の税金系納付書の標準化に伴い、数量減及び在庫調整があった。民間のスポット案件も見られず、前年を大幅に下回った。

(前年比 83.6%)

<包装用紙>

特殊両更は金融保険・株式向け封筒等に一部動きが有り昨年を上回ったが、

その他は全般的な在庫不足等も重なって各種低調な動きで昨年を大きく下回った。

純白ロールは贈答用、お中元関連の包装紙に動きはあったが、ゴールデンウィーク向けの包装紙在庫の積み増しがあった前月の反動により比較的動きが鈍く、昨年を若干下回った。

包装紙全体では 88.5%と下回った。

(前年比 88.5%)

<板紙>

コートボールは、物価高を背景に、日用品や食品関係の低迷は続くものの、中東情勢不安から一部前倒しが見られ、前年を上回る。

特板は、医薬品・化粧品関連において、一次包装の軟包材に遅れが一部見られ、前年を下回った。

高板は、依然としてトレーディングカード需要は堅調であるものの、POPをはじめ商印関連が低迷し、前年を下回った。

チップボールにおいては、芯材用から出版用途まで全般的な低調が続き、またコストダウンの動きから、貼合ものから単紙へのシフトも一部見られ、前年よりマイナス。

全体としては、消費動向が弱含んでいるものの、中東情勢の不安からくる前倒しが一部あったことにより、前年同等となった。

(前年同月 100.4%)